

2018年 スポーツ交流

宮城県登米市 & 東京都東大和市



宮城県登米市 & 東京都東大和市【軟式野球】

- 1 実施日時 2018年(平成30年)8月3日(金)～5日(日)
- 2 主催 東京都・(公財)東京都体育協会
- 3 主管 東大和市体育協会
- 4 後援 東大和市
- 5 協力 東大和市少年軟式野球連盟
- 6 会場 中小企業大学校 東京校
創価学園 東大和グラウンド
株式会社西武ライオンズ ほか

スポーツ交流事業【宮城県登米市・東京都東大和市】日程表

| 8月3日(金) | | | 8月4日(土) | | | 8月5日(日) | | |
|---------|----------|---------------|---------|-------------------------|------------------|---------|--------|---------------|
| 7:00 | 出発 | 登米市立 錦織小学校 | 7:00 | 起床 | 各ホームステイ先 | 7:00 | 起床 | 各ホームステイ先 |
| | 休憩 | 国見SA | 7:30 | 朝食 | 各ホームステイ先 | 7:30 | 朝食 | 各ホームステイ先 |
| | | | 8:30 | 集合 | 創価学園 東大和グラウンド | | | |
| | | | 9:00 | 写真撮影 開会式・始球式 交流試合 | | 9:00 | 送別会 | 中央公民館 |
| | 休憩 | 大谷PA | 9:30 | | | 10:30 | 登米市へ出発 | |
| | 休憩 | 葛瀬SA | 12:00 | 昼食 | | | 休憩 | 葛瀬PA |
| 15:30 | | | 東大和市到着 | 中小企業大学校 | | | | 休憩 |
| 16:00 | 歓迎交流会 | 中小企業大学校 | 18:00 | 地域交流プログラム 野球観戦 夕食 | メットライフ ドーム | | 休憩 | 春日PA |
| 19:00 | ホームステイ先へ | | 20:00 | ホームステイ先へ | | 19:00 | 到着・解散 | 登米市立 錦織小学校 |

1日目①【2018年8月3日(金)】

(1)出迎え(東大和市 中小企業大学校東京校)



▲歓迎を受ける登米市の選手たち



▲歓迎会の会場に入る選手たち

(2)歓迎会



▲主催者代表挨拶 東京都 田中部長



▲主催者(都体協・並木理事長)から記念品贈呈



▲招待チーム選手代表挨拶 佐藤主将



▲6年前を映像で振り返る

1日目②【2018年8月3日（金）】



▲全員で記念撮影



▲対面式。今日から家族の一員に（左：築島家、中：吉澤家、右、吉岡家）

(2) 歓迎食事会



▲すでに兄弟のように（左：高橋家、中：岩橋家、右、石川家）

2日目①【2018年8月4日(土)】

(1)交流試合開会式 (東大和市・創価学園東大和グラウンド)



▲実行委員長挨拶 谷村都議



▲谷村実行委員長から記念品贈呈



▲主催者からの挨拶 東京都・原田課長



▲東大和市 尾崎市長による始球式



▲関係者との記念ショット

2日目②【2018年8月4日(土)】

(2)交流試合 (東大和市・創価学園東大和グラウンド)



▲キャプテン握手



▲真剣勝負



▲得点のチャンス



▲積極的に走塁

| TEAM | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | R | B | H | S | E | O | Fc |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|----|
| 東和 | 1 | 0 | 1 | 2 | | | | | | | 4 | | | | | | |
| 大和 | 3 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 3 | | | | | | |

▲試合は登米市の勝利

(3)地域交流プログラム・プロ野球観戦 (メットライフドーム)



▲全員でプロ野球観戦



▲思い出をたくさんつくりました

1～3日目【2018年8月3日(金)～5日(日)】

ホームステイ先での様子



▲ホワイトマナーズ 石川家



▲ホワイトマナーズ 岩橋家



▲ブラックキャッツ 築島家



▲タイガーシャーク 高橋家



▲八小ライダーズ 吉澤家



▲十小上北台ストロングス 吉岡家

3日目【2018年8月5日(日)】

(1)送別会 (東大和市中央公民館)



▲主催者挨拶
(都体協・直井課長)



▲色紙のプレゼント



▲招待チーム代表挨拶 (及川さん)



▲この絆の永遠の紡ぎを誓って、最後に全員で記念撮影

(2)お別れ



▲みんなでお見送り



▲また会おうね!

● 宮城県登米市「東和ミラクル☆キッズ」ご招待の経緯

実行委員会

2011・3・11から7年目。今年の交流に先駆けて本年5月にゆかりのある登米市、気仙沼市、石巻市を訪れ、懐かしい方たちにお会いしました。東大和市に交流で来た子たちの多くはその後にも中学高校と野球を続けており、今年はその中から甲子園に出場する選手が出ました。

今回、東北を訪れて感じたことは、大規模な復興事業でかつての風景が変わろうとする中、東北でも「東日本大震災」の記憶が少しずつ風化してきたことです。7度目の交流事業の招待チームは5年ぶり3度目となる宮城県登米市の東和ミラクル☆キッズですが、前回の参加者は選手も大人も一人もいません。改めてこれまでの交流を振り返り、最初の年に来てくれた選手の作文を紹介し、震災を乗り越えながら少年野球に希望をつないできた多くの方たちの思いをお伝えしました。

今、日本全国が大規模な自然災害に見舞われ「被災地」というだけではどこの地域をさすのかさえ、わからない状況です。その中で、未曾有の大災害を乗り越えようと頑張ってきた東北の地で育った子どもたち、そして、ともに寄り添ってきた東大和市の子どもたちがこれからの未来の大きな支え手となってくれると確信しています。

● 感想文

(1) 東和ミラクル☆キッズ 監督・スタッフ

加藤武彦監督

先日は東和ミラクル☆キッズが大変お世話になりました。有難うございました。

東口正美様より「東京に来ませんか？」のTELを頂き、再び皆さま方に会えると心おどらせました。

しかし、私は仕事の都合がつかず、大変残念ですが欠席という判断をし、ビデオレターでの再会となってしまいましたことお許し願います。

さて、地元に戻ってきた子どもたちですが、バスから直行で我が家に数名保護者とともに報告にきました。東京土産をたくさん持って。品物だけでなく東京での楽しかって出来ごとなどなど、目を輝かせながら話してくれました。

選手・保護者ともども、貴重な体験が出来たことと思います。これもひとえに東大和市の関係者の皆さま方のおかげと深く感謝申し上げます。

交流試合も天候に恵まれ、無事2試合実施できたことも安心いたしました。

前回頂いた「インジケーター」は、私の野球バッグの中で、今でも鈍い光を放っております。大切に使っていますよ。

また会える日を願って、皆さま方の益々のご発展をお祈りいたします。



「一期一会」

スタッフ 佐藤美里



このたびは、東大和市スポーツ交流事業にお招きいただき心より感謝いたします。
東口正美議員に初めてお会いしたのは5月の初めでした。幾度と東北・宮城に来ていただいているとお聞きし、芯の強さと優しさを感じました。ここから子ども達の東京への2泊3日は現実味を帯びてきました。

本当に本当に楽しく、充実した2泊3日、子ども、大人ともに目がキラッキラでした。

一期一会、運営役員の皆さま、ホストファミリーの皆さま。東和ミラクル☆キッズの仲間、全ての皆様とのご縁にありがとうございました。

「子どもたちの成長」

スタッフ 田松恵理



東日本大震災から7年。震災を乗り越え、野球を続けてきた少年の作文を聞き、当時のことを思い出しました。今回参加した息子は当時4歳で、自分が体験した不自由な生活だけは覚えているようでした。身内の死や転居・転校を体験しながら、野球というスポーツを通し、成長し続けた少年のように、東和ミラクル☆キッズのメンバーも、今回の交流事業を通して大きく成長する機会となりました。

親と離れホームステイでは、温かいホストファミリーと出会い、貴重な経験ができました。交流試合やプロ野球観戦では、野球の楽しさを改めて感じたようです。

新しい友達もでき、これからも交流して行きたいと思っています。また、この事業に参加できたことを嬉しく感じております。そして、多くの関係者の方々、ホストファミリーの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

「心に残るおもてなし」

スタッフ 及川朋喜



東大和市の皆さまとはご縁あって、当チームとして3回目のご招待頂き、誠にありがとうございました。

しかしながら今回参加させていただいた子どもたち、当チームスタッフともども初参加とあって、出発までは楽しみと不安が半々でした。

いざ東大和市に到着し、皆さまから熱烈な大歓迎を受け、心配はどこへやら。子どもたちも大人たちも古くからの友人のようにすぐに打ち解けることができました。

今回の経験で子どもたちは自信がつき、二回りも三回りも大きく成長したように感じます。

最後に、3日間の感謝とご縁を大事に、今後も末永いお付き合いのほど、よろしく願い致します。

今回の事業に携わって頂いた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「感謝の言葉」

スタッフ 千葉美幸



東和の子どもたちを温かく自宅に迎えてくださったホストファミリーの皆さん、試合や交流を通して友情の輪を築いてくれた選手の皆さん、そして私たちのために準備、運営に尽力頂いた東口さん、東大和市少年軟式野球連盟の皆さんはじめ、全ての関係者の皆さんに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

震災後から今も継続してくださっているご支援がたしかに子どもたちにとっても、親にとっても前に進む力となっています。

この「絆」は子どもたちの明るい未来に繋がるものと思っています。本当にありがとうございました。

「スポーツ交流会で得たもの」

スタッフ 羽生孝史



今回のスポーツ交流事業を通じて、東京都および東大和市の皆様のご支援、ご協力に感謝するとともに、心の温かさ、野球を通じて生まれる無限の可能性と友情を改めて実感することが出来ました。

この3日間で経験したことは、親子ともども一生の宝物になると思います。

このような貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。

「スポーツ交流事業に参加して」

スタッフ 及川 稔



私の勝手な偏見ですが、今回のスポーツ交流事業に参加するまで「東京の人はクールな人が多い」という印象を持っていました。

ところが、バスで到着してから帰るまで熱い歓迎を受け、子どもたちともに交流ができて本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。

緊張している私たちに、田村副会長さんや米島審判部長さんたちが積極的に話しかけていただき、夜の湯山さんのカラオケですっきりリラックスすることができました。

子どもたちを受け入れてくださったホストファミリーの皆さん、最初からいろいろと手配をいただいた東口さん、汗だくになりながらたくさん写真撮影をしてくれた新倉さん、全ての関係者の皆さまに感謝を申しあげます。本当にありがとうございました。

「野球での出会い」

スタッフ 佐藤幸枝



この度、東京都被災地支援事業でミラクル☆キッズが参加することとなり、我が家は三男が参加しました。3年生でホストファミリーの方をお願いするのは不安でしたが、しつけの行き届かない息子をお願いする際、ホストファミリーの築

島さんご家族と会いお話することができ、安心しました。息子もすぐ仲良くなり、優しかったと笑顔で話してくれました。

皆さんの優しさ、心遣いに感謝申しあげます。今後も野球を通し、子どもたちが繋がって行くことを願っています。

「3日間の思い出」

スタッフ 村田裕仁



今回のお話をいただいた時、ぜひ息子を参加させたいと思いましたが、一方でホームシックになるのではないかと、少し不安でした。いざ参加してみると、それは全くの杞憂でした。歓迎会でホームステイ先のお子さんとすぐに仲良くなっていました。買い物もひとりでしたことがなかったのですが、お小遣いをしっかり使い切ったようです…（笑）

この3日間は、東大和市の皆さんの温かさを全身で感じた3日間でした。初日の歓迎会、2日目の交流試合と野球観戦、そして3日目のお別れ会。東大和市の子ども、東和の子ども、笑顔が本当に素敵でした（もちろん、大人たちの笑顔も素敵でしたよ）。ほんとうにありがとうございました。

家に帰ると、いつもはこちらから聞かないとなかなか話さないのですが、楽しかった思い出をすぐに話してくれました。

「野球で繋がる絆」

スタッフ 及川加成恵



2018年3月11日。この日ミラクル☆キッズは登米市の球場で試合中。14時46分、放送とともに被災地に向け黙祷をしました。

震災から7年。多くの命が犠牲となり、たくさんの力が集まり、たくさんの絆が生まれ、復興へと確実に進んでいます。

今回の事業に参加できたことは、私たちにとって人生の財産です。これほど温かい事業があり、心が温かくなる皆さんに出会えたこと。涙が止まらなくなるほど、感謝する事業を手掛けてくださった皆さまに、多謝いたします。

野球を通して出来たこの出会い。子どもたちの今を、そして子どもたちの未来を、繋げていただいた出会いに、絆を深めていけたらと思います。

全ての出会いに、心から感謝です！！

(2)ホームステイの思い出

ホームステイ先：ホワイトマナーズ 岩橋宅

「東京に行って」

東和ミラクル☆キッズ 6年 田松優斗



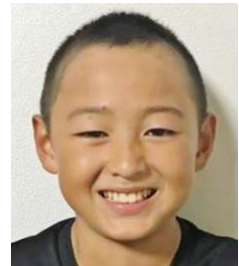
ぼくは、東京都に行って交流試合をしたり、プロ野球観戦をしたり、ホームステイをしました。

ホストファミリーの人達と米軍基地に行ったり、野球ゲームやキャッチボールをしたりして楽しく過ごしました。

たくさんの方が、ぼくたちが楽しめるように支えてくれました。遠くに友達ができてうれしいです。大きくなって、友達と戦えるように野球をがんばりたいです。

「東京に行って」

東和ミラクル☆キッズ 5年 及川 陣



この前ぼくは東京に行きました。1日目はホームステイの人とアメリカの基地に行きました。その中ではオスプレイを見てきました。とてもおもしろかったです。

2日目には交流試合をしました。夜には西武ドームで、西武対日本ハムの試合を見ました。中田翔にホームランを打たれたけど、とても熱い試合でした。

3日目には別れのつどいをしました。とても悲しかったです。家に帰ったらとてもさびしくなりました。でも、とても充実した3日間でした。

「ようこそ東大和市へ」

東大和市 6年 岩橋雄輝



最近テレビで西日本豪雨の被災地へボランティアに行く人の様子を見ました。僕の家では去年と今年の2年連続で東日本大震災の被災地支援をしました。ホストファミリーをしたりスポーツ交流で野球の試合をしたりしました。6年生の優斗さんと5年生の陣くんが泊まりに来てくれました。最初はみんな緊張したけどだんだん仲良くなれて、僕のお父さんに横田基地に連れて行ってもらいました。横田基地でオスプレイを見たり、ポテトとハンバーガーを食べたりしました。夜に出掛けて楽しかったです。登米市のお土産でお米と野菜をもらったので、僕がカレーを作りました。とても美味しかったです。

「繋ぐ」

東大和市 保護者 岩橋清枝



1年前に気仙沼市の被災地支援計画をうかがった時、「地域に恩返しするなら今

だ」と思いホストファミリーを引き受けました。というのは、娘が東大和一中の吹奏楽部にお世話になった頃、遠征費の援助や教育長がコンクールに来てくださるなど、多方面から応援していただいたからです。今回2度目の登米市も引き受けたのは、今度は恩返しという考えではなく「ぜひどうぞ」と心から感じて参加させていただきました。自分の気持ちの変化にも気付いて感謝しています。

登米の方たちはとても明るく、このパワーはどこから湧くのか、団結力もあり皆さん若くて元気な印象です。あの震災の頃は子育てが始まったばかりで忙しい時だったでしょうに、それでも乗り越えなければならないなんて、私だったらどう過ごすのだろう、そう思うと若い保護者の方々が強くたくましく見えました。この出会いも大切にしてこれからも繋がっていこうと思います。

ホームステイ先：ホワイトマナーズ 石川宅

「初めての東京」

東和ミラクル☆キッズ 5年 羽生那希

ぼくは、8月3日から8月5日の3日間で楽しかったことは二つあります。

一つ目は、とても立派な球場で、東大和市の少年野球チームのみなさんと交流試合をしたことです。すごく暑くて大変だったけど、みんな笑顔でプレーできたのがうれしかったです。

二つ目は、西武ライオンズの試合を見たことです。ぼくは、西武ライオンズのことを知らなかったの、最初見た時、(どこのチームだろう)と思っていたら、ホストファミリーのお母さんに教えてもらいました。これからは、西武ライオンズを応援したいです。

その他にも、米軍基地を見学したり、本場のハンバーガーを食べさせてもらったりしました。

ホストファミリーのみなさん、3日間ありがとうございました。



「オスプレイをみたよ」

東和ミラクル☆キッズ 2年 村田恭仁

とうきょうでの3日間で1ばん楽しかったことは3つあります。

一つは、すごいちかくでオスプレイを見たことです。

二つ目は、すごいちかくでひこうきがとんでるところを見たことです。

三つ目は、外国人のてんいんが、ごはんをはこぶのもぜんぶやっているレストランで夜ごはんを食べました。

オスプレイも、どはくりよくがすごくて、ひこうきもすごかったです。レストランもいっぱい外国人がいて「このレストランはすごく人気なんだな」と思いました。

あと、オスプレイとひこうきをみたときはすごくびっくりしました。またオスプレイなどのひこくきとレストランをかぞくりよこうで見にいきたいです。



「楽しかった3日間」

東大和市 6年 石川拓人



ぼくの家に東和ミラクルキッズの羽生なぎ君と村田きょうじ君が来てくれました。

横田基地でハンバーグや外国のお菓子を食べたり、西武球場で野球観戦したりしました。試合もしました。

家ではいっしょにお風呂に入ったり、楽しく過ごしたりしました。

一生の友達になれればいいなと思いました。また来てね。

「スポーツ交流会を終えて」

東大和市 保護者 石川 任順



初めて、ホストを経験してみて、とても良い体験をすることが出来ました。

2泊3日でしたが、毎日がとても、充実した日々を送ることが出来ました。我が家には5年生と2年生の男の子がステイしました。

二人ともとてもしっかりしていましたし、礼儀作法も出来ていて素晴らしい子どもたちでした。又、機会があればホストをして見たい気持ちになりました。

ホームステイ先：ブラックキャツ 築島宅

「感謝の言葉」

東和ミラクル☆キッズ 5年 千葉陽斗



3日間色々ありがとうございました。

1日目は、初めてできんちょうしていたぼくをやさしくむかえてくれました。すごくうれしかったです。せんとくでは、こうせい君とお風呂の中で話をしました。自分たちの好きな食べ物など教えました。お風呂に入っている時もすごく楽しかったです。

2日目の朝は、おいしいご飯を食べました。すごくおいしかったです。家では「がんばってね」と声をかけてくれました。試合の後も「おつかれさま」と声をかけてもらいすごくうれしかったですし、がんばろうと思いました。夜も西武球場でも、迷わないようにサポートしてくれました。そのおかげで迷うことなく帰ることができました。

3日目、家族のみんなから思いが詰まった色紙をもらいました。すごくうれしかったです。

この3日間お世話になりありがとうございました。



「東京で野球」

東和ミラクル☆キッズ 3年 佐藤銀哉

ぼくは、8月3日から5日まで、東京の東大和市に行きました。行くバスの中では楽しかったけど、東京できちんといつもの野球ができるか考えていました。東京についてバスからおりると、たくさんの人がむかえてくれてびっくりしました。

ホストファミリーの家に行き、みんなやさしくてぼくは楽しかったです。せんとうに行って、はじめて水ぶろに入り、気持ちよかったです。

2日目の野球の交流試合はサードやキャッチャーをしました。1勝1敗でした。試合が終わってから、ホストファミリーのこうせい君のチーム「ブラックキャッツ」といっしょに野球のれん習をしました。チームのみんなとなかよくなりました。夜はせいぶドームで野球かんせんしました。

3日目の朝はまたみんなと野球がしたいと思いました。またあいたいです。

忘れられない友達

東大和市 5年 築島晃誠



僕は被災地支援事業に参加しました。陽斗君と銀哉君が家に来てくれました。バスが到着した時はどの子かな。とドキドキしましたが、お食事会で2人と色々話しました。

その後、銭湯へ行きました。二人とも初めてで気に入ったそうです。

2日目は早朝に目覚めました。午前中は交流試合をし、お昼ご飯は試合に出た6年生とも一緒に食べました。

午後は僕のチームと合同練習をしました。

陽斗君のピッチングの球を僕がキャッチャーで受けました。陽斗君はテンポが良く球が速かったです。

銀哉君は3年生だけど、パワーが結構あり、バッティング練習では、外野まで飛ばしていました。

西武ドームの後は、また銭湯へ行きました。

夜はお兄ちゃんも加わって、西武ドームでもらった光る棒で部屋を真っ暗にして遊びました。

3日目、帰ってしまう時はさみしかったけど、忘れられない友達です。これからも友達でいたいです。

初めてのホストファミリー

東大和市 保護者 築島治美



今回、初めてホストファミリーとして参加しました。我が家には5年生の陽斗君と3年生の銀哉君が来てくれました。人見知りの晃誠は我が家にくる選手と仲良くなれるかしら、と心配していましたが、歓迎会ですぐにお友だちになっていました。

2日目の午後はブラックキャッツの練習に参加してもらいました。ピッチャー陽斗&キャッチャー晃誠のバッテリーは良い思い出になりました。

銀哉君はニコニコ顔でお話しをしてくれて、お手伝いもしてくれました。

陽斗君と銀哉君のきちんとした挨拶、生活態度は我が家の子どもたちにも良い影響を与えました。楽しく、収穫のあった3日間でした。

この事業に携わった皆さんに感謝します。陽斗君、銀哉君またネ！！

ホームステイ先：タイガーシャーク 高橋宅

「思い出の三日間」

東和ミラクル☆キッズ 6年 佐藤慶真



ぼくはこの3日間すごく楽しかったです。

その中で特に楽しかった事が二つあります。

一つ目は、1日目の夜です。柗匡君、柗魁君、倅大君と一緒にUNOやトランプをしました。そのおかげでみんなと仲良くなれました。楽しかったです。夜に銭湯に行ったのも良かったです。

二つ目は、交流試合です。すごく暑かったけれど1試合目が勝って良かったです。2試合目は負けてくやしかったです。すごく楽しかったです。

この3日間で3人新しい友達ができました。柗匡君、柗魁君、倅大君です。この3人とはいつか野球を通して中学、高校の時にまた、会えればいいなと思います。

この3日間は夏休みの思い出になりました。

「たのしい東大和市」

東和ミラクル☆キッズ 2年 佐藤泰成



ぼくが一ばんおもいでにのこったことは、2日目の交りゅうじあい目1しあい目4-3でかちました。2しあい目9-3でまけたけど、ぼくはフォアボールで、るいに出て、しゅつるいして、ホームまではしっていきました。2年生3人いて1てんをやっととれました。

二ばんめにおもいでにのこったことは、野球かんせんです。サインボールを買いました。日本ハムファイターズがいっぱいプレーしてすごいとおもいました。

とてもたのしい3日かんだったので、またしょうたいしてほしいです。

「宮城の子との交流」

東大和市 6年 高橋柗匡



僕は、3日間ミラクルキッズの慶真君と泰成君兄弟と過ごしました。

最初は仲良くなれるか心配だったけど、「ウノやる？」と聞いたら「うん」と頷いてくれました。少し遊んだ後に、タイガーシャークの大信田監督とチームメイト慶真君兄弟と富士見湯に行きました。

自分の中で驚いたのが、2人がとてもおとなしかった事です。

3日目、ミラクルキッズの子たちと交流試合をしました。合計で2試合し、第3打席、本気で振りに行ったら、空振り三振しました。悔しかったけど楽しかったです。

その後、タイガーシャークの練習に一緒に行き、その後西武ドームに野球観戦しに行きました。

帰ってきてからは、神明湯に行きました。

3日目、慶真君と泰成君が帰る日です。最後まで見送りをしました。
とても楽しい3日間でした。

「楽しかった3日間」

東大和市 4年 高橋柊魁



最初ホームステイに来ると聞いた時から楽しみでした。

慶真君と泰成君が来ました。

いざ会ってみると恥ずかしくてあまりしゃべれなかったけど、家に帰ってきてお兄ちゃんが「ウノやろう」と言いました。ウノをやって少しずつ仲良くなっていきました。その後に、監督が銭湯に連れて行ってくれました。

2日目、交流試合をして楽しかったです。夜は野球観戦に行きました。見て楽しかったです。

3日目は慶真君と泰成君が帰る日になってしまいました。ちょっと悲しい気持ちになりました。また会えたらうれしいです。

3日間本当に楽しかったです。

「スポーツ交流事業を終えて」

東大和市 保護者 高橋佳代



ホームステイを受け入れると決めてから、少しの不安と大きな楽しみで子どもよりワクワクしていました。

うちには、佐藤君兄弟が3日間うちの子どもとして来ることになりました。

当日会ってみたら、ビックリ！！うちの子とは正反対の性格。。大人しい。。少し戸惑いました。でも、2人はとってもいい子でした。礼儀正しい。お兄ちゃんは弟の面倒をしっかりと見る子、弟ちゃんは、2年生とは思えないほどしっかり屋さん。

最初、少し緊張していた二人も、銭湯に行ったり、泊まりに来たタイガーシャークのメンバーたちとウノなどをしたりしているうちに、楽しそうに笑っているのを見て安心しました。

2日目、交流試合をしたり、メットライフドームに行ったりと忙しい1日でしたが、とっても楽しい1日になりました。

たった3日間という短い短い時間でしたが、帰ってしまう姿に本当に寂しさが込みあげてきました。またいつかどこかで会えたり出来たらうれしいです。

今回のこの経験は、私たち親子にとって、とても貴重で素晴らしい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

ホームステイ先：八小ライダーズ 吉澤宅

「東京の思い出」

東和ミラクル☆キッズ 4年 及川清佳

わたしは東京に行って楽しかったこととすごいと思ったことがそれぞれあります。

すごいと思ったことは、交流試合でくーちゃん（くるみちゃん）とホッチ（ほのかちゃん）が内野のファーストやセカンドを守っていてすごいと思いました。それに上手にボールを取っていてすごいと思いました。そしてくーちゃんがホームランを打ってすごいと思いました。

楽しかったことは、ボウリングをしたことです。スペアをとった時は「ナイス」とか、タッチをしてくれてうれしかったです。それに、全部たおせなかった時も「おいしい」などと言ってくれてうれしかったです。

3日間、ありがとうございました。



「東京に行って」

東和ミラクル☆キッズ 3年 及川憂俐

東京に行って楽しかったことは3つあります。

一つ目は、新しい友だちができたことです。さいしょは、ふあんで仕かたがなかったけど、友だちができてとってもうれしかったです。

二つ目は、交りゅうしあいです。ぜんぶで2回戦やりました。1回せん目は、東和の勝ちで2回せん目が東大和市の勝ちでした。とっても楽しかったです。またやれたらいいなと思います。

三つ目は、ボウリングです。女子だけでやりました。はじめてやるボウリングはうまくできなかったけど、ストライクが出てよかったです。

思ったことは、東大和市にもう一回行けたらいいなあとと思いました。



「東大和市に行って」

東和ミラクル☆キッズ 3年 千葉萌生

わたしは、東大和市に行くのがはじめてでした。3日間はとても短い時間だったけど、おもしろくて、やさしい友だちができました。その3日間の中で楽しかったことは3つあります。

一つ目は、こうりゅう試合です。はじめて東大和市のみなさんと試合をしました。ホームランをうった人やおちついてボールをとってアウトにしていたところがすごかったです。

二つ目は、ボウリングです。わたしは、はじめてボウリングをやりました。できるかドキドキしていました。ストライクは入らなかったけど、スペアをとれてビックリしました。



三つ目は西武ライオンズの試合かんせんで、はたをふったり歌を歌っておうえんしました。日本ハムはホームランをうっていたけど、西武ライオンズはうっていないくて、うってほしかったです。

3日間とても楽しかったです。

「3日間の思い出」

東大和市 6年 吉澤くるみ



私はこの3日間の中で沢山楽しい事がありました。

一つ目は、ボウリングです。ミラクル☆キッズの子たちは初めてだったので少し難しいかなと思ったけどみんなとても上手でビックリしました。ストライクとったときなどみんなで喜んでとっても思い出にのこる時間になりました。

二つ目は、西武戦の観戦です。あまり私も観戦をしないのでとても楽しかったです。西武ドームで食べたご飯もいつも以上に美味しかったです。

三つ目は、家の中でトランプをしたことです。私が知らなかったゲームをやったりしました。そのゲームはとても簡単なのにすごく面白いゲームでした。他にもたくさん楽しかったことがあり、たくさんの思い出ができました。

遠い宮城にもお友だちができて、とてもいい機会になったと思いました。

この機会をつくってくれたことに感謝をしながら、これからも頑張っていきたいです。

「楽しい3日間」

東大和市 5年 吉澤ほのか



登米市の子たちがくる前は、ワクワクしながら部屋の掃除をしていました。その日になって、一緒にご飯を食べたときにはすっかり友達になった気分でした。家につくと、トランプの銀行という遊びを教えてくださいました。はじめてやった遊びでとても面白かったです。次の日の交流試合は1勝1敗でしたが、一緒に野球できたことがすごく楽しかったです。そのあとはボウリングをしました。はじめてスピアも出すことができました。3日間とてもいい思い出ができました。さやかちゃん、めいちゃん、ゆりちゃん、これからも体に気を付けて野球頑張っね！

いい思い出をありがとう。また会えたらいいね！

「素晴らしい出会い」

東大和市 保護者 吉澤有希



3月11日になると、毎年テレビで流れる映像に胸を打たれていました。それでも自分に出来ることは少ないな、、、と思っているなか、このスポーツ交流のお話がありました。ホームステイ先として、子どもたちを受け入れることに不安もありましたが、楽しみの方が大きく、少しでも力になれるのであればという思いでした。

8月3日、バスを降りてきた子どもたちは本当に可愛らしい子ばかりで、はじめて会ったとは思えないくらい子ども同士もすぐに仲良くなっていて安心しました。家についてからは女の子が5人になり、とてもにぎやかでした。

交流試合や野球観戦では、同じ野球をしている仲間として一緒に楽しめたこと。ボウリングでは他の子のプレーでも、手を叩き飛び上がって全員で喜び合えるところ、とても素敵でした。一緒に過ごした思い出を、みんな忘れずに大きくなってほしいと思います。登米市の子どもたちの成長も、自分の子どものように楽しみにしています。

このような素晴らしい事業に参加できたこと、嬉しく思います。

これからも自分にできることを見つけて、支援ができるように努めたいです。

そして、また登米市のみなさんに会えるのを、楽しみにしています。ありがとうございました。

ホームステイ先：十小上北台ストロングス 吉岡宅

「東京遠征の思い出」

東和ミラクル☆キッズ 5年 田中 涼

わたしは、8月3日から8月5日まで東京に行きました。

1日目は歓迎会をしてもらいました。初めはすごくきんちょうして、その後は、ホームステイの人たちとご飯を食べました。おいしい物をいっぱい食べておなかいっぱいになった後、きんちょうがなくなってみんなと仲良くなりました。その日は楽しくすごしました。

2日目は交流試合をしました。東大和のチームはみんなうまかったです。

1試合勝って1試合負けてしまったけど楽しかったです。その後に西武ライオンズ対日本ハムファイターズの試合で、すごくびっくりしました。ホームランを打ったのを見ました。すごかったです。

3日目に送別会をしてもらいました。悲しかったです。でも楽しい3日間でした。



「交流に行って」

東和ミラクル☆キッズ 5年 佐藤碧湮奈

東京に行く時はきん張していたけど、東京の人たちが笑顔でむかえてくれてうれしかったです。

3日間で一番楽しかったことは、交流試合の後にホストファミリーの人たちとボウリングをしたことです。東京の人たちは、たくさんスコアを出せていてすごかったです。野球観戦では、西武ライオンズの人たちのプレーを見れて良かったです。ねる時はみんなでいろんな話をしたり遊んだりできて楽しかったです。

3日間ありがとうございました。



「東京に行った」

東和ミラクル☆キッズ 2年 佐藤綺織



東京に行くときのバスでは、とてもきんちょうしていましたが、ホストファミリーのかたがたから、声をかけてくれて名前もおしえてくれてうれしかったです。

この3日かんととてもたのしかったです。イオンでのつかみどりでは、いろいろまよったけど、ホストファミリーのかたがたがどれにする？とやさしく言ってくれたのでうれしかったです。やきゅうかんせんで、どうやればいいのかわかりました。人がたくさんいたけど、みんながいっしょにきてくれたのでうれしかったです。3日めのお別れの会をしましたけど、まだいたかったです。とうきょうは、みやぎよりもあつかったけど、とてもたのしかったです。

3日かん、ほんとうにありがとうございました。

「大切な友達」

東大和市 6年 吉岡 凜



8月の3日、4日、5日に被災地支援事業「スポーツ交流事業」がありました。初めて会った時は緊張してなかなか話せず、少し不安だったけど、少したつとすぐになかよくなって家でもみんなで楽しみました。

2日目の交流試合は楽しくできて、自由時間やプロ野球観戦では、昔から一緒にいた友達や家族のように関わって、時間を忘れてしまいました。

3日目の朝はもう別れてしまうと思うと、とっても悲しかったです。でも、大切な友達も出来てとても充実した3日間になりました。これからもかかわりをもって、ずっと大切な友達でいて、いつかまた会って今と変わらずに話したり、遊んだりしたいです。

「スポーツ交流事業」

東大和市 保護者 吉岡 慎一



今回ホストファミリーとして交流会に参加させていただきました。我が家には、佐藤碧湮奈さん、田中涼さん、佐藤綺織さんの3人と同じチームの三浦由菜さんが来てくれました。

5人も面倒みられるだろうか、2年生の子もいて、寂しい思いをさせるのではないかと心配していましたが、初日の食事会では、すぐに打ち解け、何でも自分たちで準備し、楽しんでいる姿を見て、「子どもってすごい」と感心しました。

この3日間、交流試合、ボウリング、野球観戦といろいろな体験が、一緒にできたこと、我が子にとってもとても楽しい思い出になりました。我が子にとっては妹ができたみたいでとてもうれしそうな顔をしていたのが印象に残っています。

最終日、バスが行ってしまった後、「今度は、私が登米市に行ってみよう」とまた会えるのを楽しみにしていました。いつまでのこの交流が続くよう、応援していきたいと思います。

夏休み少年野球交流 送別会



登米市  東大和市

心をつなぐ少年野球、目指そう東京オリンピック

私たちは忘れない！東北の友のことを！